

森と海の自然科の皆様へ

「乙訓地域・長岡京市＝歴史・伝説の町散策」の案内

(古墳時代～長岡京時代～戦国時代)

日 時 : 平成28年12月15日(木)

前日の18時・京都西山地区の天気予報で降水確率50%を超える場合は中止します。

集合場所 : 阪急・西山天王山駅改札前 10時 集合

持ち物 : 弁当・水筒・雨具・手袋など

行 程 : 西山天王山駅～小倉神社～中山修一記念館～恵解山(えげのやま)
古墳～勝龍寺～勝竜寺城址(昼食)～神足神社・勝竜寺城土塁跡
～西国街道～神足ふれあい町屋(旧石田家住宅)～神足石仏群～
長岡天満宮～阪急・長岡天神駅

- * **小倉神社** 羽柴秀吉は戦に出かける前に戦勝祈願をするため しばしば訪れていたと言われていた。現在は霊気みなぎるパワースポットと話題になっている。
- * **中山修一記念館** 「幻の都」長岡京の発掘・解明に生涯を捧げた故・中山修一氏の軌跡と成果を展示している。
- * **恵解山古墳** 乙訓地域最大の前方後円墳。7000点に及ぶ鉄器・土器が出土した。
- * **勝竜寺城** 明智光秀の娘・玉(細川ガラシャ)が嫁いだ細川忠興と新婚生活を過ごした城。築城は織田信長の命により 忠興の父細川藤孝による(1571年)。
- * **神足ふれあい町屋** 江戸時代後期の町屋を改修 日本庭園を望む喫茶スペースや特産物販売コーナーあり。国登録有形文化財。



恵解山古墳



勝竜寺城址

担当 万井・杉谷・前窪・金戸・藤本・丸山

乙訓地域・長岡京市＝歴史・伝説の町散策記録

(古墳時代～長岡京時代～戦国時代)

→

平成 28 年 12 月 15 日 (木)。 阪急・西山天王山駅改札前 10 時集合

行程：西山天王山駅→ 小倉神社→ 中山修一記念館→ 恵解山（イゲノヤマ）古墳→ 勝竜寺城址（昼食）
神足神社・勝竜寺城土塁後→ 西国街道→ 神足ふれあい町屋（旧石田家住宅）→ 神足石仏群→長岡天神駅

参加者：浅野・大石・甲斐・金高・金戸・後藤・坂根・中束・中曽根・日景・藤井・藤本・前野・万井・
山下・倭

当日は朝から快晴、良いハイキングになりそうな予感がする。

西山天王山駅に全員集合後小倉神社に向けて出発。 以前はゴールだったビール工場、行のバスを横目に今日は歴史ウォークと心得る。 小倉と聞けば百人一首、小倉山荘等と雅な場面を想像して期待が膨らんでくる。神社は秀吉が戦勝を祈願するために度々訪れたといわれているが、思ったよりはこじんまりした明るい神社であった。が、現在はパワースポットとして話題になっているようだ。

次の中山修一記念館に行く道中、長岡が四方八方に道が繋がりまた海にも開けていた、などと聞く。都を開く要素が有ったのだ等と話したのが印象に残っている。



次の中山修一記念館はガイドをお願いしていて長岡京の事、中山修一のこと、建物のこと等の詳しい説明を受けた。『幻の都』といわれていた長岡京を生涯に渡って発掘・解明に尽力した人がいて今が有ることを思うと感慨深かった。建物も現在では出来ないこと、現代でも通じること等を見て時間の経つのも忘れていた。

恵解山古墳の 7000 点にも及ぶ鉄器・土器が出土したという場所の中を通り勝竜寺城へと向かう。

明智光秀の娘、細川ガラシャが新婚生活を過ごした勝竜寺城公園で昼食を摂る。 綺麗な所で暖かな日を浴び贅沢なランチタイムとなった。その後資料館を見たり散策したり思い思いに公園を堪能する。

それから、西国街道を通り神足ふれあい町屋へと向かう。江戸時代の町屋（旧石田家住宅）を改修し、喫茶スペースや販店コーナーが有る。国登録有形文化財である。が、表からチョット見て神足石仏群の所まで行く。



新しいスポットだそうである。今日の行程はこれで終わったが、お天気にも恵まれゆったりと楽しい 1 日だった。お世話係の万井様ありがとうございました。

報告（写真 坂根・文 藤本）